

平成30年度大磯町教育委員会第10回定例会議事録

1. 日 時 平成31年1月17日（木）
開会時間 午前9時30分
閉会時間 午前10時50分
2. 場 所 大磯町立図書館2階 集会室
3. 出席者 野 島 健 二 教育長
長 嶋 徹 教育長職務代理者
青 山 啓 子 委員
曾 田 成 則 委員
トーリー 二葉 委員
仲手川 孝 教育部長
佐 野 慎 治 町民福祉部長
佐 川 和 裕 参事（歴史・文化担当）
宮 代 千 秋 学校教育課長
瀬 戸 克 彦 子育て支援課長
波多野 昭 雄 生涯学習課長
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長
佐 藤 聡 生涯学習課図書館長
山 口 友紀子 学校教育課副課長
秋 本 篤 史 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 なし
6. 付議事項
議案第19号 平成31年度当初予算における教育委員会関連予算要求について
議案第20号 平成31年3月補正予算における教育委員会関連予算要求について
7. 協議事項
協議事項第1号 平成31年度教育委員会基本方針（案）について
8. 報告事項
報告事項第1号 平成30年第4回（12月）大磯町議会定例会について
報告事項第2号 明治記念大磯邸園「明治150年記念公開」の終了について
報告事項第3号 教育委員会関連事業の実施及び結果報告について
9. その他

(開 会)

教育長) それでは、ただいまから、平成30年度大磯町教育委員会第10回定例会を開催いたします。

本日の会議の内容ですが、付議事項が2件、協議事項1件、報告事項3件でございます。

本日は5名全員、出席しておりますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立いたしました。

現在、傍聴を希望される方が見えておりませんが、希望者が見えたら、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により傍聴を許可したいと思っております。

(平成30年度第9回定例会議事録の承認)

教育長) 「平成30年度第9回定例会議事録」は、1ページから13ページに記載のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成30年度第9回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

教育長報告

教育長) それでは、12月定例会開催後の平成30年12月26日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

1月6日、大磯運動公園におきまして、消防出初式が開催されました。今年も国府中学校の吹奏楽部の生徒が演奏を行い、出初式に華を添えました。当日は、肌寒さを感じる日でありましたが、会場を訪れた人々が温かく見守る中、活気のある演奏のハーモニーが運動公園全体に響き渡り、人々の心を和ませていたように感じました。

1月13日、国指定重要無形民俗文化財である「大磯の左義長」が北浜海岸において行われました。大磯中学校の1年生が、今年も地域の方々と一緒にサイトづくりを行いました。

翌日の1月14日、大磯プリンスホテルを会場に、成人式・新成人記念の集いを開催しました。詳細につきましては、後ほど事務局より報告いたします。

その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりです。

なお、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

また、12月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関する事、専決した事項に関する事、その他についての報告は特にございませぬ。本日の報告は、以上でございます。

議案第19号 平成31年度当初予算における教育委員会関連予算要求について

学校教育課長) 学校教育課は、説明資料の2ページから5ページになります。

それでは、説明資料の2ページをお開きください。学校教育課の予算要求の説明をいたします。

まず、予算科目の教育総務費は、要求額1億3,506万9千円、前年度比較で3,924万3千円の増額となります。増額につきましては、大磯町立小中学校の空調設備借上の費用と、教育研究所の移転に向けて、移転先の旧横溝千鶴子邸の改修工事を行っていくための費用の増が主な要因であります。

大磯町立小中学校の空調設備借上については、児童・生徒が快適に学習できる室内環境を実現するために、町立の小中学校4校の普通教室及び特別教室等にエアコンを設置していくものであります。

また、旧横溝千鶴子邸の改修工事については、現在、こいそ幼稚園内にある大磯町教育研究所について、教育に関する調査研究、研修、教育相談などの機能強化なども考えた中で、旧横溝千鶴子邸を移転先として準備を進め、平成30年度に委託した実施設計に基づき、外構や内装の改修工事を行っていくものであります。

そのほか、平成25年度から平成28年度までの4年間にわたり実施しました「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」における成果を継承し、町として、昨年度に引き続き学びづくり推進事業を実施し、児童・生徒の学力向上、教員の指導力向上を目指した実践研究に取り組んでまいります。また、平成27年3月に小・中学校学習指導要領が改訂されたことに伴い、道徳の時間が、平成30年度の小学校に引き続き、平成31年度からは、中学校でも「特別の教科 道徳」として位置づけられることとなりますので、これに伴い、教職員用の教科書や指導書を購入してまいります。

教育研究所維持管理・運営事業では、町立学校全体における保護者や教職員等の支援体制の充実に向けて、平成29年度から平成30年度まで、スクールソーシャルワーカーを町独自で雇用してきたところですが、前年度よりも、さらに、雇用日数を増やし、支援体制の充実を図るとともに、町立小学校には、新たにスクールカウンセラーを雇用し、児童・生徒の生活上の最近の諸問題や悩みの相談のほか、教師や保護者に対しての指導や相談体制の充実を図ってまいります。

支援教育の推進では、指導協力員の増員により児童・生徒に対する支援体制の充実を図ってまいります。また、いじめ問題対策・調査委員会の委員に精神科医の方を追加し、生徒などの精神面の状況を踏まえた中での対応確認なども行ってまいります。

次に、3ページから4ページにかけて記載している小学校費です。要求額は1億1,082万3千円、前年度比較1,730万円の増額となります。増額につきましては、町立の小学校2校の普通教室及び特別教室等のエアコン設置に伴う電気料金と、小学校内のコンピュータ室のパソコンのリース期間満了による入替のほか、各教室内に持ち込んで授業等に使用できるようなタブレット等を購入するための費用、そして、隔年で実施している理科教育振興法設備整備のために購入する簡易検流計や顕微鏡などの費用の増が主な要因であります。

次に、4ページから5ページにかけて記載している中学校費です。要求額は5,811万9千円、前年度比較66万6千円の増額となります。増額につきまし

ては、町立の中学校2校の普通教室及び特別教室等のエアコン設置に伴う電気料金と、小学校と同様に、隔年で実施している理科教育振興法設備整備のために購入する顕微鏡や気圧計などの費用の増が主な要因であります。

なお、最後の学校給食運営事業ですが、平成30年度は、今後の中学校給食の方式を検討するための調査費用を計上しておりましたが、今年でその調査委託業務は終了したので、その分の費用が減となっております。学校教育課は以上です。

子育て支援課長) それでは、子育て支援課の教育費、幼稚園に係る平成31年度予算要求について、ご説明いたします。それでは、資料の6ページをご覧ください。

初めに、幼稚園費の幼稚園運営事業ですが、国府幼稚園の統廃合により2園となります町立幼稚園の運営に必要な消耗品や旅費、各種負担金、その他に、臨時教諭や教育支援員などを配置するための費用となっております。また、満3歳児保育事業や夏季保育に係る費用も、こちらで予算計上しております。なお、国府幼稚園の統廃合に係る費用の支出が終了したことと、臨時職員の任用予定人数等の減により平成30年度より減額となっております。

次に、幼稚園施設・設備維持事業については、施設・設備の維持管理及び保守点検など、概ね今年度と同様の内容となっておりますが、12月議会において補正予算で対応いたしました大磯幼稚園に新たに空調設備を設置することに対し、フロン漏えい点検手数料や、キュービクルの自家用電気工作物保安管理業務を委託する委託料を新たに予算要望しております。また消防署より指摘のありました粉末消火器の買い替えなど行います。平成31年度の施設の修繕といたしましては、大磯幼稚園では同じく消防より指摘のありました自動火災報知機や避難口誘導灯の修繕を行います。たかとり幼稚園では、各保育室へのカーテン設置などを予定しています。

3点目の私立幼稚園就園補助事業では、子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園に通う園児の保護者に対し、経済的な負担を軽減するための補助を行っております。こちらは大幅に増額となっておりますが、平成31年10月より施行されます幼児教育無償化に対応するための費用を計上しております。

幼稚園費の合計ですが、予算要求額が5,580万円で、前年度予算額が5,084万2千円ですので、495万8千円の増額となっております。

子育て支援課の教育費、幼稚園に係る平成31年度当初予算の説明については、以上となります。

生涯学習課長) 続きまして生涯学習課生涯学習係の予算要求の説明をいたします。7ページをご覧ください。

生涯学習課生涯学習係の要求額は2,393万4千円で、前年度比で15万3千円の減額としております。減額理由につきましては、2年間の時限要綱に基づく御船祭山車等修理交付金が終了したことによるものでございます。

それでは、事業内容について、説明をさせていただきます。社会教育委員会会議運営事業につきましては、社会教育委員に係る事業でございます。平成31年度は社会教育研究大会が埼玉県川越市と、近隣で開催を予定するため、費用弁償を減額としております。

次の青少年指導員連絡協議会運営事業でございますが、青少年指導員にかかわる事業で、青少年指導員への報酬や費用弁償などを計上しております。

社会教育総務運営事務事業では、職員の研修・会議参加費用などを毎年計上しておりますが、平成31年度は「大磯町生涯学習推進計画」の進行管理を行うため、生涯学習に関する町民アンケート実施のための費用を新規に計上しております。

次に生涯学習推進事業でございます。こちらは、各種講座、教室の開催費用のほか、PTA関連団体への助成などを行っている事業でございます。

次に成人式開催事業でございます。成人式の式典及び実行委員会の企画・運営による記念のつどいに関する事業となります。会場使用料や記念品代などを予算計上しております。平成31年度は新成人の該当者が若干減少する見込みでございます。

文化祭開催事業は、おおいそ文化祭の開催に関する予算で、物品借上料、ポスターやプログラムの印刷代などを計上しております。

生涯学習館維持管理事業は、利用者の快適な利用に供するため、生涯学習館の維持管理などを行う事業でございます。

文化財保護事業では、文化財専門委員会議の開催、埋蔵文化財の調査保存、指定文化財への助成、文化財の現状確認や防火巡回等を行っております。平成28年度から実施している相模国府祭調査の最終年度となり、調査員への報酬のほか調査報告書の印刷製本費などを計上しております。

最後に人権教育啓発事業でございます。人権問題に対して正しい認識と理解を深めるため、毎年福祉課と共催での人権講演会のほか、人権研修への参加費用を計上しております。生涯学習課生涯学習係は以上でございます。

図書館長) 生涯学習課図書館について説明いたします。資料の8ページをご覧ください。主な内容について説明いたします。

はじめに図書館維持管理事業につきまして、図書館施設の各種設備の保守業務委託を行ないます。また、自動ドア2か所のドアエンジン・コントローラー等の交換修繕を行います。

2つ目の図書館運営事業につきましては、本館、分館の窓口に臨時職員を配置して、利用者への円滑なサービスを提供します。

3つ目の図書館コンピュータ・ネットワーク推進事業につきまして、図書館コンピュータ・システムの借上げ、窓口業務や蔵書管理、インターネット蔵書検索などの業務を効率的に運営します。また、小中4校の図書館用にパソコンとプリンターを借上げ、窓口業務や蔵書管理業務を効率的に運営します。

4つ目の図書館資料整備事業につきましては、図書館資料の充実を図るため、資料の購入、受入、整理を行ないます。

最後に子ども読書推進事業につきまして、ブックスタート、図書館見学、学級招待などの児童サービスの実施や学校図書館など関係機関と連携して子ども読書活動を推進します。また、読書通帳を2,000冊増刷し「ステップ・ブック」と称して、おすすめ本のリストと一緒に新入学の小学生全員に配布するとともに、希望者には図書館カウンターでも配布していきます。

以上、図書館費の予算要求見込額は4,507万7千円で、前年比較で129万6千円の増額となります。図書館は以上となります。

郷土資料館長) 郷土資料館分です。資料9ページをご覧ください。はじめに郷土資料館運営事務事業は郷土資料館運営に係る経費で、大磯町郷土資料館協議会の開催、事務的経費の執行、年報等印刷物の刊行を予定しております。

次に郷土資料館維持管理事業では、中央監視盤の更新、隔年実施の燻蒸委託、各種修繕を予定しております。

郷土資料館学芸活動事業では、各分野の資料収集・調査研究といった学芸活動に係る経費です。今年度に引き続き、町指定文化財の木像神像の保存処理委託を予定しております。

教育普及・企画展事業につきましては、各種講座等の実施、企画展の開催に係る経費で、今年度実績を踏まえての要求を予定しております。

次に旧吉田茂邸に係る事業です。旧吉田茂邸運営事務事業は、別館である吉田邸の運営に係る経費で、調度品の製作・備品の購入を予定しております。旧吉田茂邸維持管理事業につきましては、吉田邸の維持管理に係る経費で、施設整備及び各種設備の維持管理を実施し、必要に応じた修繕を行ないます。旧吉田茂邸学芸活動事業は、吉田茂に関する資料収集・調査研究を行ない、講座等を開催します。旧吉田茂邸研修等事業については独自の講座等、今年度実績を踏まえた事業展開を予定しております。

要求額が5,449万6千円で、前年度比、527万5千円の増でございます。

質疑応答)

曾田委員) 教育研究所となる横溝邸の改修は、大まかで結構ですが、どのようなスケジュールになっていますか。

学校教育課長) スケジュールといたしましては、今年度、設計をやっております。その設計に基づいて、来年度、つまり今年の4月に工事を実施していきまして、10月頃をめどに工事を完了する方向で予定を組んでおります。早ければ、来年の1月1日に教育研究所を移転できるというような方向で、予定で組んでおります。

曾田委員) よくわかりました。ありがとうございました。

青山委員) 学校教育課の4ページの学校運営事業の中の事業内容、ピアノというところに下線が引いてあるのですが、これはどういう意味合いでしょうか。

学校教育課長) ピアノについては、これは国府中学校の授業で使うピアノが故障してしまったということで、音の響きが悪いというような不具合がありますので、そちらのほうをここで購入していくための予算を計上しております。下線表示については、当初予算査定で一回切られて、復活要求をあげ、その結果復活したということで、こちらは下線表示をしております。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。議案第19号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第19号「平成31年度当初予算における教育委員会関連予算要求について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

議案第20号 平成31年3月補正予算における教育委員会関連予算要求について

学校教育課長) 議案第20号、平成31年3月補正予算における教育委員会関係予算要求について、ご説明いたします。議案別紙をご覧ください。まずは、学校教育課分の説明です。歳入の関係になります。

予算科目は、款・項・目・節・細節が、国庫支出金、国庫補助金、教育費国庫補助金、小学校費補助金、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金であります。こちらは、大磯小学校の校舎南側のブロック塀の安全対策等に係る改修工事費用に対する交付金の増であります。

続いて、予算科目は、款・項・目・節・細節が、国庫支出金、国庫補助金、教育費国庫補助金、中学校費補助金、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金であります。こちらは、大磯中学校の北側の国道1号線沿いの歩道及び植栽帯に沿って設置してあるブロック塀と、大磯中学校の東側の国道1号線から西湘バイパスに向かう道路沿いに設置してあるブロック塀の安全対策等に係る改修工事費用に対する交付金の増であります。

この交付金については、平成30年12月26日に国の交付金要綱が新たに制定されたことにより、昨年9月の補正予算で計上した、大磯小学校及び大磯中学校のブロック塀の改修工事費に対するものであり、基礎額の3分の1に相当する額が、国の予算の範囲内で交付されるものであります。学校教育課分は以上です。

子育て支援課長) それでは、平成31年3月補正予算における教育委員会関連予算要求について、ご説明いたします。資料の別紙、1ページ目をご覧ください。

まず、歳入ですが歳入は2点ほどありまして、1点目は、国庫支出金の国庫補助金で、教育費国庫補助金の幼稚園費補助金で就園補助金の減額になります。

こちらは、町外の私立幼稚園へ通う園児の保護者に対して保育料などの経済的な負担を軽減するため、その一部を補助する就園補助金に対する国の負担部分になります。就園補助については、歳出と同様に補助対象児童数が減となりましたので、それに伴う減額となっています。

次に、同じく国庫支出金の国庫補助金で教育費国庫補助金、幼稚園費補助金で、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金の減額になります。

こちらは、先の9月及び12月議会で補正予算を認めいただきました、大磯幼稚園のブロック塀改修に伴う工事と、同じく大磯幼稚園へのエアコン設置に伴う工事等に対する補助事業である「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」の国の負担部分となります。今回、各工事費用等に対する歳入金額が確定しましたので、それに伴い減額の補正をするものです。歳入についての説明は、以上となります。

次に歳出ですが、歳出については3点ほどございます。

まずは、教育費の幼稚園費、幼稚園運営事業で臨時職員の賃金と社会保険料で、共済費は社会保険料、賃金は臨時雇賃金の減額となります。

こちらについては、臨時教諭や教育支援員等の賃金等となりますが、人事異動等により不要となった分の賃金と社会保険料について減額するものです。幼稚園では、保育園も含めた中で職員の人事異動を行っていることや正規職員の他に退職した職員を任期付職員として任用しており、その中で職員を配置したため不要になったものです。

次に、私立幼稚園就園補助事業の私立幼稚園就園補助金については、先ほど歳入でもご説明したとおりで、補助対象児童数が見込みより減のため減額するものです。当初予算では、91名を補助対象として見込んでおりましたが、実際には64名が補助対象となりましたので、それに伴う減額となります。

平成31年3月補正予算における教育委員会関連予算要求についての説明は、以上となります。

郷土資料館長) 今回の補正につきましては、旧吉田茂邸の調度品製作の執行残により生じるものです。

資料の別紙をご覧ください。歳出です。予算科目は教育費・社会教育費・郷土資料館費です。事業名は、旧吉田茂邸運営事務事業・委託料・模型製作委託料です。補正理由としては調度品製作時の入札の執行残による減です。

説明は以上です。

質疑応答)

長嶋委員) 幼稚園、保育園の児童数減という形が目に見えてきていますけれども、やはり5年先ぐらいを予測して、どの程度の児童数の減少というのを見込んでいるのか、もしわかれば教えていただきたい。

子育て支援課長) ただ今ご説明しました園児数の減については、町外の私立幼稚園に通うお子さんの中で就園補助の対象になるお子さんが減っているという内容になります。ご質問の今後の見込みについては、町外の私立幼稚園に通うお子さんの人数は減っていませんが所得制限等により補助対象は減っていく見込みです。平成26年度が一番、補助人数が多く、その時点で130名ほどおりましたが徐々に減ってきて今年度は64名となっており、毎年10名程度減っています。ただし今年の10月より幼児教育の無償化が始まりますので、この制度は9月で終了することになります。そこでまた新たな展開があるのではと考えています。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。議案第20号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第20号「平成31年3月補正予算における教育委員会関連予算要求について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

協議事項第1号 平成31年度教育委員会基本方針(案)について

学校教育課副課長) 本日お示ししております案につきましては、事務局が素案として作成しました12月の案について、委員の皆様からご意見をいただき、いただきましたご意見を各課・館で検討した結果となります。

このあと、各担当から修正箇所や特にお伝えしたい点について、学校教育課から順にご説明いたします。

それでは、まず、1ページの前文ですが、特に新たに修正した箇所はございません。

続いて、1ページから4ページ学校教育の基本方針です。

おめくりいただきまして、2ページ〔重点施策〕1. 幼稚園は、大幅に修正

してございますので、読み上げとさせていただきます。(1) 幼児期の早い段階に集団生活の中で多くの経験を共有することは児童の自発的な行動を促すことにつながるため、町立幼稚園において、満3歳児を対象とした保育事業を平成30年度に引き続き、試行的に実施します。(2) 児童一人ひとりの理解度や興味・関心に合わせた、きめ細かな指導を行うことで、子ども達の積極性を引出し、課題等への対応や個別指導を充実させることができるため、1クラスの少人数化を検討していきます。(3) 町立大磯幼稚園では、平成30年夏の記録的な猛暑を受け、園児に対する熱中症対策として、エアコンを全室に設置します。(4) 未就学児童及び小学生を持つ保護者を対象に実施したアンケートを踏まえ、『大磯町子ども笑顔かがやきプラン』の第二期計画を策定し、子ども・子育て支援の充実を図っていきます。(5) これまで、未就学児童を対象に子ども発達相談員が町内の幼稚園・保育園・認定こども園等を巡回し、実施していた相談事業を就学児にも拡大していきます、という重点施策に変更させていただきました。

3ページにまいりまして、2. 小学校・中学校におきまして、(5) 今年度整備した「校務支援ソフト」の効果的な活用を行ってまいります。(6) の中学校給食に関しましては、来週第3回目を予定しております中学校給食検討会で決定した事項を受けて教育委員会の結論として出して給食提供方式を研究してまいります。

おめくりいただきまして4ページの(11)、新たに「地域とともにある学校づくりをめざし、コミュニティースクールを研究を進める」ことを付け加えさせていただきます。5ページ上の施設面(13)につきまして、すべての町立学校の教育環境の向上の一環として、空調設備を設置してまいります。(15) 校務支援ソフトの活用によって、より正確な事務作業及び成績処理が可能となるため、教員の業務負担の軽減及び児童・生徒の教育支援の充実を図るための一つとして、導入にかかる整備を行います。また、(16) 国の推進する「働き方改革」を受け、「教職員の心身の健康やワーク・ライフ・バランスにつなげる」、「仕事効率の向上により、教職員が子どもと向き合う時間を確保する」、「職員の働きやすい職場環境の実現を推進する」という趣旨と目的のもと、部活動等の課外活動の在り方を検討するなど、引き続き、働き方改革に取り組みます。

最後に5ページの教育研究所ですが、(5) 教育研究所の機能強化のため、平成31年度中に工事を終了し、移転を行います。

なお、学校教育課の用語の解説になりますが、コミュニティースクールについて新たに付け加えました。説明は以上です。

生涯学習課長) 続きまして、生涯学習課生涯学習係分について、説明をさせていただきます。7ページをご覧ください。

はじめに、生涯学習の基本方針と目標でございますが、こちらにつきましては変更ございません。

次に、重点施策でございます。重点施策の1をご覧ください。学校支援ボランティア活動について、社会教育委員会議から提言をいただいておりますが、引き続き研究を進め、地域活動の推進に努めるというものでございます。

重点施策の3をご覧ください。「生涯学習推進計画」についての記載でございます。生涯学習推進計画につきましては、平成25年度から平成32年度までの8年間の計画でございますが、計画の改定を見据え、これまでの成果を検証するためにアンケート調査を実施する、というものでございます。

8 ページをご覧ください。重点施策の6でございます。こちらは、「文化祭」についての記載でございます。「おおいそ文化祭」だけでなく、文化祭期間中に開催しております「おおいそ美術展」についても表記し、個人の文化・芸術活動も活性化を図っていく、という記載に変更するものでございます。

重点施策の7でございます。こちらは、「生涯学習館」についての記載でございます。

町が所有・管理する公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための指針となる計画、「大磯町公共施設等個別施設計画」の第1期計画において、生涯学習館については、「施設の貸出しを行う同様な施設との集約化について協議する」こととしております。このことから、協議に向け、施設の利用状況、利用者情報等の整理、分析を進める、というものでございます。

重点施策の8、9、10につきましては、「文化財」についての記載で、9、10につきましては、新たに記載をさせていただいたものとなります。

まず、重点施策8、こちらは、先ほど、平成31年度当初予算においてもご説明させていただきましたが、平成28年度から実施している相模国府祭調査が最終年度となることから、調査報告書を刊行するというものでございます。

重点施策9でございます。

旧吉田茂邸の兜門等について、国登録有形文化財となるよう文化財専門委員の会議で意見聴取し、手続きを進めているところでございますが、引き続き、町指定文化財等の候補について、文化財専門委員会会議で意見聴取し、文化資源の情報収集に努める、というものでございます。

重点施策10につきましては、文化財の保全、保護のため、巡回調査、消防訓練等を実施する、というものでございます。

そのほかの重点項目につきましては、文言等を整理する形で、修正を行っております。生涯学習課生涯学習係分は以上となります。

図書館長) 続きまして生涯学習課図書館は9ページになります。基本方針と目標は今年度と変更はありません。

重点施策2の図書館利用サービスの普及を図るため、図書館ホームページの活用とデジタル資料の公開推進を加えました。

また、重点施策5には、目標4の「生涯学習の拠点として快適な環境を提供するため、老朽化した施設・設備の改善を計画的に進める」に基づき、図書館施設の長寿命化を図る修繕計画策定を視野に入れた、施設・設備の点検を実施することを加えました。図書館は以上です。

郷土資料館長) 資料11頁をご覧ください。郷土資料館につきましては、基本方針・目標については変更ありません。

重点施策について、周年記念事業であった30年度の1・2から3を1にまた新たに2を「旧吉田茂邸について、関係する団体と相互連携を保ち、円滑な運営を進めます。」として加えております。また、4～6を3～5とし、4を「収蔵資料の整備を引き続き行うとともに、燻蒸を実施し、資料を良好な状態で保存するためのより良い環境づくりに努めます。」とし、燻蒸の実施に関する内容を加えております。概要は以上です。

質疑応答)

青山委員) 特に、今回の案について異論はございません。昨年度の基本方針と、あと来年度当初予算、いろいろ参考に見させていただきました。これはしぼら

く前から私たちもいろいろ勉強してきた内容でございますし、各委員からいろいろ意見も出て、その上での今日の案の提示かと思っておりますので、特に異論はございません。

報告事項第1号 平成30年第4回(12月)大磯町議会定例会について

教育部長) 平成30年第4回大磯町議会定例会の概要についてご報告します。

会期は12月18日から12月27日まで10日間の日程で行なわれました。

資料の1ページをご覧ください。提出議案の一覧でございます。教育委員会関連は、アンダーラインで記した部分で、2ページ目の9番、議案第69号でございます。それでは議案の審議についてご報告いたします。

3ページをご覧ください。議案第69号、平成30年度大磯町一般会計補正予算(第3号)でございます。

5ページをご覧ください。教育委員会関連の補正予算は、表の番号に丸がついている部分です。

歳入として、2番の教育費国庫補助金。大磯幼稚園エアコン設置に対する補助金です。

次に、6ページをご覧ください。歳出として、11番の「学校給食施設・設備維持事業【小学校費】」の施設修繕料、12番の「幼稚園施設整備事業」の大磯幼稚園エアコン設置関連事業でございます。

教育委員会関係では2名の議員から質問がありました。

始めに奥津勝子議員から、「学校給食施設・設備維持事業【小学校費】」の施設修繕料の具体的な内容について、また、大磯幼稚園エアコン設置事業の具体的な内容について質問がありました。

次に渡辺順子議員から、大磯幼稚園エアコン設置事業の関連質問として、小中学校エアコン設置事業は国の補助対象になるのか、補助対象にならないとしたらなぜリース方式を選択したのか等の質問がありました。

本議案は、直ちに討論、採決が行われ、賛成多数で可決されました。議案関係は以上でございます。

次に9ページ、10ページをご覧ください。教育委員会関係の陳情で、2件提出されました。内容は、陳情第8号「国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」及び陳情第9号「神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情」で、陳情者はいずれも「神奈川私学助成をすすめる会」でございます。本陳情について、陳情第8号は机上配布のみという扱いとなり、陳情第9号が福祉文教常任委員会に審査が付託されました。

これを受け12月26日に福祉文教常任委員会が開催され、審査が行われました。主な質疑として、なぜ神奈川県は私学助成の水準が低いのか、昨年度の町立中学校卒業生の進学状況について、等の質問がありました。

資料の11ページをご覧ください。本陳情は、審議終了後直ちに討論、採決が行われ、資料のとおり陳情9号は趣旨採択となりました。

続いて、12月20日、21日に行なわれた一般質問の概要についてご報告いたします。12ページから17ページが一般質問の通告内容で、アンダーラインの部分が教育委員会関係の質問です。6人の議員から大きく6問の質問がありました。

12ページをご覧ください。はじめの質問者は清田文雄議員で、「旧吉田茂邸の今後の運営方針と県立大磯城山公園との関連整備について」として、記載のとおり質問がありました。

町長からは、11月末には開館以来の累計来館者が15万人を超えた。旧吉田茂邸は一般公開や吉田茂関連事業のほか、各種イベントの開催や外務省による迎賓館としての利用など、活用の可能性も広がっている。今後も多くの方々に来館いただき、再度訪れてみようという気持ちを持っていただくことが重要であると考えており、そのためには、来館者の意見を聞いていく必要がある等と答弁がありました。

教育長は、展示物の整備や講座等独自事業の開催、SNS等による情報発信や各種媒体による旧吉田茂邸の紹介などにより、さらなるリピーターの確保に努めている。さらに、11月からは産業能率大学との提携事業の一環として、タブレット端末を活用したアンケート調査も開始した。

また、今後の旧吉田茂邸の各種事業や運営方法を検討するため、「旧吉田茂邸プロジェクトルーム」を立ち上げた。

指定管理者制度への移行については、維持管理面だけでなく、旧吉田茂邸の歴史的意義を十分に理解し、文化や学術振興にも理解を持って自主事業を展開できる事業者担っていただくことが重要であると考えている。現在は、指定管理者により魅力ある施設運営ができるのか、また、指定管理者を受託する事業者があるのか等の見きわめなどを進めている。

また、県との連携について、外務省の迎賓事業の際は県と連携して協力を行い、公園事業である七賢堂の開扉の際は特別講演会を実施するなど、連携事業を実施している。

さらに、現在国登録有形文化財建造物への登録手続きが進められているサンルーム、七賢堂及び兜門の有効活用等、町から県に対し来園者の利便性向上の要望等もしている、等と答弁いたしました。

再質問として、今年度当初の想定観覧者数と実際の観覧者の状況について、ツアー客や修学旅行生の誘致の状況について、旧吉田邸プロジェクトルームの内容について、国の登録有形文化財建造物への登録が見込まれているサンルーム、七賢堂及び兜門の有効活用について、そして旧吉田茂邸一般公開に伴う町内経済への波及効果について、等の質問がありました。

次の質問者は同じページの柴崎茂議員で、「町民に知らせる数字に欺瞞はないか」として、記載のとおり質問がありました。

町長からは、エンゼルフーズ株式会社に対する違約金については、大磯町の法令規則にのっとり、契約内容や当時の状況を総合的に勘案し、弁護士とも相談しながら慎重に検討した結果であり、その手続に間違いはないと考えていると答弁がありました。

教育長は、弁護士に確認しながら、大磯町契約規則の規定に基づき、契約解約時点での履行見込み数を根拠として総額を算出し、その10%を違約金として決定したものであり、背任に当たるような内容は一切ないものと考えている、と答弁いたしました。

再質問として、違約金の算定に当たり事業者側に不当に便宜を図っているのではないかという趣旨の質問等がありました。

次の質問者は13ページの二宮加寿子議員で、「小・中学校の児童・生徒のランドセルやかばんの重さについて」として、記載のとおり質問がありました。

教育長は、特に町内の小中学校でランドセルやかばんの重さをはかる調査は行っていない。具体的な対応については、これまでも児童生徒の携行品については、各学年や学級指導の中で、また、中学校においては、教科等でも置いていく物等の内容を説明し、生徒にもみずから判断するよう指導してきた。教科書やその他の教材等は、宿題の予習・復習など家庭での学習指導を行う上で重要なものでもあるため、この重要性も踏まえつつ、引き続き児童生徒の身体の健やかな発達のために携行品に関する配慮をしていく、と答弁いたしました。

再質問として、小学校低学年の児童に対する具体的な取り組み内容について、学校での盗難防止対策について、中学校での指導内容について、等の質問がありました。

次の質問者は15ページの山田喜一議員で、「全国に報道された「まずい給食」の中止は大磯町政の集約された問題ではないか」として、記載のとおり質問がありました。

町長からは、まず平成27年度から29年度の3年間で支出した中学校給食の関連費用は、山田議員の言う数億円ではなく約9,000万円であると訂正を求め、中学校給食については、懇話会での検討や教育委員会検討会での検討を経て、当面の対応としてデリバリー方式での完全給食を導入したものである。実施後にさまざまな問題が生じ、これらに対し職員は改善に努めたが、残念ながら給食を休止せざるを得ない状況であった。将来を担う子供たちの健康を守り食育を推進するため、一日でも早く給食を提供したいという思いで導入したが、食育指導の準備が不十分でなかったという反省も強くある。今回反省も踏まえ、安全でおいしい学校給食の再開に向け、教育委員会とも努力をしていく、と答弁がありました。

次に教育長は、中学校給食導入から休止までの経緯について、従来通りの答弁をいたしました。

再質問として、給食時間の短さについて町全体で議論されたのか、等の質問がありました。

次の質問者は16ページの鈴木たまよ議員で、「中学校給食の問題について」として記載のとおり質問がありました。

町長からは、中学校給食の方式については、教育委員会において専門業者による調査を進めるとともに、検討会で検討を進めているとの報告を受けている。今後、検討会の結果を受け教育委員会において結論が出されることになっており、町としても給食の再開に向け財源の確保に向け最大限努力をすると答弁がありました。

教育長は、昨年11月に実施した懇話会において保護者から、自校方式が現実的に可能か専門家に調査してもらい、それをふまえ検討したいとの意見をいただいた。

これを受け、専門業者により自校方式、親子方式、センター方式等の実現性について調査委託を実施している。

さらに、懇話会にかわり副町長を会長とし、各小・中学校の校長やPTA会長及び町の幹部職員を加えた「大磯町立中学校給食検討会」を立ち上げた。

この検討会において、調査内容をもとに協議を進めた結果、中学校給食は自校方式に絞り検討会での意見を整理し、次回の検討会で最終的に決定していくことが確認された。教育委員会では、この結果を踏まえ最終的に中学校給食の実施方法を決定していきたい。そのうえで、自校式給食の実現に向け、

予算や学校運営上の課題などを一つ一つ整理し取り組んでいくと答弁いたしました。

再質問として、大磯中学校の東側で2階建てにするなど工夫して兄弟方式が可能な給食室ができないか、等の質問がありました。

次の質問者は17ページの鈴木京子議員で、「来年度予算編成の考え方について問う」として記載のとおり質問がありました。

町長からは、現在財政課を中心に編成作業を行っており、今後歳入見込みを考慮した上で、必要性、優先性の高い事業について総合的に判断する。予算編成の考え方は、編成中であるため、平成31年3月の議会の定例会において、施政方針として述べると答弁がありました。

再質問として、来年度当初予算に中学校給食に関連する予算は計上されるのか、町民が独自に調査をどんどん進めており、特に国府中学校においては調査報告書の案以外にも別の案が考えられるのではないかと、等の質問がありました。以上が一般質問の質疑の概要です。

平成30年第4回大磯町議会定例会の概要報告については以上でございます。本議会の会議録については、後日、議会事務局より町ホームページに掲載されますので、詳細については後日ご覧いただきたいと存じます。以上です。

質疑応答) なし

報告事項第2号 明治記念大磯邸園「明治150年記念公開」の終了について

参事（歴史・文化担当）） 国による「明治150年」関連施策の一環として、明治記念大磯邸園の整備事業が平成29年11月に閣議決定され、県、町との連携のもと平成30年2月に事業が着手されました。さらに平成30年10月23日から12月24日まで大磯邸園計画区域の一部が公開されました。その結果、休園日を除く54日間の公開期間中に20,791人の来園者がありました。

このうち、旧伊藤邸前庭・旧大隈邸内・旧陸奥邸内をめぐる事前予約制のガイドツアー参加者は、6,917人。また、当日受付による旧大隈邸・旧陸奥邸の庭園部分の自由観覧者は13,874人。あわせて20,791人の来園者数ということでした。なお、この来園者数には、町民対象公開日に参加された人数も含まれております。町民対象公開日は、国土交通省の主催する記念公開日の一部を、大磯町在住者のみの枠として提供を受けて実施したものです。日時は11月26日・29日・30日、12月1日・4日・9日の6日間、いずれも9時30分から11時までと、10時30分から12時までの2回ずつガイドツアーを実施しました。

建物内の見学にあたっては、参加者の安全への配慮、文化財的価値の高い建物や展示資料に対する保護対策などをもとに、国が募集人数を定めていまずので、町民対象公開日についても国の募集人数に準じて往復はがきで募集をかけました。その結果、募集人数320人のところ応募者数は730人でした。募集人数に対して応募者数は約2.28倍でした。応募者多数のため抽選を行い、384人を当選者といたしました。この当選者数は、当日のキャンセル発生を約15%と想定した人数です。ただし、最終的には、当日キャンセルが約7%でしたので、結果的に355人の参加者数となりました。この355人を含め、大磯邸園全体で期間中20,791人の入園者数ということでございます。

質疑応答)

曾田委員) 国が主催しているわけですが、今後、この施設については、どのような経緯が想像できますでしょうか。

参事(歴史・文化担当) 今回のように、明治150年を記念いたしまして、特別公開として一定の期間を設けて公開することは、今後はまだ全く白紙だということでございます。ただ、国のほうでは、オリンピック・パラリンピックに合わせて、平成32年の夏ごろまでに庭園の一部を常時公開することを目標に整備を進めていくということになっているようでございます。したがって、今後、平成32年の夏を目安に、公園全体の建物並びに庭園の整備事業を進めていく。その中で、多分、整備のスケジュールの関係もあると思いますけれども、それに合わせて、可能な範囲の中で対応を考えていくというふうに聞いております。

長嶋委員) 今回、公開された場所がありますけれども、西園寺邸とかそのほかの活用とか提携とか、お話が前向きに進めるような、何か行動をしていくのかどうか、その辺、非常に難しい問題かなと思います。いかがでしょうか。

参事(歴史・文化担当) 国のほうでも31年度予算、あるいは補正予算も含めて予算化もされております。まずは、滄浪閣を最初に整備していく。あわせて旧大隈邸、それから、陸奥邸、古河電工さんがお持ちになっていた部分を整備する。恐らくその次に、旧西園寺公望邸のほうに整備がかかっていくものと思われま。平成32年度におきましても、細かな数値はまだ出ておりませんが、公園整備、大磯庭園に関する予算化もされておりますので、今後、全体の整備に向けて具体的なスケジュールが決まってくるものと思われま。

長嶋委員) 神奈川県知事も随分観光に力を入れて、箱根とか鎌倉、横浜以外に大磯とか大山ですか、そんな名前も挙がっているようなことを聞きますので、県の取り組みはどのようなかなと期待をするところです。

教育部長) 今のご質問の関連ですが、実は、町も来年度予算で20億円前後ぐらいですかね、予算計上をしております。いわゆる建物の部分の周辺と、旧伊藤博文邸は全て国のほうが買い上げて管理する。南側の緑地部分、緑に塗ってあるところと、その上の緑地部分も含めて、約二十数億円程度分を町がまず買い上げる。ただ、その二十数億円については、基本的には国の補助金と県の交付金をほぼ活用するというので、一応、計算上は町の持ち出しが買い上げにはつかないという形で、もう既に当初予算のほうで、きのう委員会のほうでも説明をしているという状況でありまして、実際には来年度から買収に向けて動きが始まるというところになっております。

曾田委員) 中曽根内閣のときに日の出山荘というのがありまして、私は利用したことがあるのですが、滄浪閣がそのような格好になりそうな気もずっとしているのですが、滄浪閣が今の安倍総理の時代にできるのか、次の総理になってできるのかよくわかりませんが、そういう流れがある中で、外務省がある種のいろんな海外の来賓、国賓の方を呼んでいく動きが出てくると思うのですが、警備の問題もいろいろあると思います。大磯町の警察署の昇格も含めて、これからこの町は結構大変なことになっていくだろうと思っています。そういう動きは現にあるのでしょうか。

参事(歴史・文化担当) まず、全体の公園計画については、今年度、基本設計を行っていますので、それによって全体の公園の輪郭が見えてくると思います。その中で、恐らく滄浪閣については、全体の大磯庭園の核になる部分でありますので、多分、総合案内的な機能を持たせた施設になろうかと思ひます。

恐らく、文化財として指定されている部分プラスアルファ、公園全体に、来園者に対しての案内機能を持つのではないかと聞いております。

それから、大隈邸、陸奥邸については、全体的な建物と、それから、庭園の見学を含めて、一部にその建物に対する案内的な機能であるとか、あるいは、バリアフリーのための駐車場機能だとか、そういう部分を設けるということ聞いております。

それから、旧西園寺邸につきましては、その建物を利用して、例えば、飲食機能ですとか、そういうものを含めた利活用を考えているというふうに聞いております。具体的に、今おっしゃいました、例えば、国賓クラスの方をどういふふうにお招きする、活用できるかというのは、恐らく今後、設計を経た中で、細かな具体的な活用というのは考えていかれるのかなと思っております。

報告事項第3号 教育委員会関連事業の実施及び結果報告について

生涯学習課長) 報告事項第3号、教育委員会関連事業の実施及び結果報告についてご説明いたします。

はじめに、「平成30年度文化財消防訓練の実施結果について」ご説明をさせていただきます。1ページをご覧ください。

「文化財防火デー」の一環として、平成21年度から実施しております文化財消防訓練について、本年度は平成31年1月12日の土曜日、午前10時より、大磯町高麗の慶覚院において実施いたしました。

当日は、消防団員や地元自治会、一般の方々、取材者の見学があり、50人の参加者がありました。

訓練は本堂から出火したと想定して、消火器による初期消火訓練、119番通報訓練、模擬文化財搬送訓練の順に行い、消防車が到着後、放水訓練を実施しました。最後に挨拶と講評を受け、終了いたしました。詳細については、記載のとおりでございます。

次に、「平成30年度大磯町成人式及び新成人記念のつどいの実施結果について」ご説明をさせていただきます。3ページをご覧ください。

本年度の成人式ならびに新成人記念のつどいは、1月14日の祝日、大磯プリンスホテルメインバンケットホールで開催いたしました。

例年同様、前半は大磯町と大磯町教育委員会の主催する式典、後半は新成人の実行委員会主催による「新成人記念のつどい」を開催いたしました。

本年度の新成人該当者は、平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの、男性148人、女性152人の計300人で、当日の出席者は、男性107人、女性117人の合計224人、出席率は、男性72.30%、女性76.97%の74.67%でございました。また、町外から参加された新成人は、男性15人、女性5人の合計20人でした。

実行委員会が主催する記念のつどいでは、新成人237人、来賓58人の、計295人が参加されました。説明は以上でございます。

図書館長) 続きまして図書館主催行事について説明いたします。

説明資料4ページの児童文学講演会「子育てと絵本づくり」の開催につきましては、毎年度、絵本作家、児童文学作家、編集者の方を1名招き、それぞれ作品に込めた思いや、創作時の苦労や喜びなどを語っていただくとともに、作品の読み聞かせやワークショップなどを通して、受講者が著者や作品に対してより深く、そして身近に感じてもらえるよう実施しています。

例年20から40人程度の参加があります。今回の定員は40人です。詳細につきましては、記載のとおりとなります。説明は以上となります。

質疑応答) なし。

(その他)

教育長) では、次回の会議について事務局から報告をお願いいたします。

事務局) 次回の教育委員会定例会は、2月21日、木曜日、午前9時30分から、大磯町保健センター1階保健指導室で開催予定です。午後はたかとり幼稚園の訪問となります。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成30年度大磯町教育委員会第10回定例会を閉会いたします。お忙しい中、ご審議いただきまして、ありがとうございました。お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成31年 2月21日

教 育 長 _____

教育長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____

委 員 _____